

平素町行政の推進に多大なご苦勞をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

また、議員の皆さまにおかれましてはご多忙の中ご臨席を頂きまして本当にありがとうございます。お礼を申し上げます。

はじめに、町政について少しお話をさせていただきたいと思います。

まず、第一に町の財政の健全化についてですが

財政健全化を判断するための判断比率には

実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率
の4指標があります。

平成21年度の決算は、決算議会とも言われております9月議会で報告を申し上げますので、本日は平成20年度の決算から、この4指標についてそれぞれの数値を申し上げます。

1つ目は実質赤字比率です。

これは一般会計の赤字の比率ですが、早期健全化基準値14.64%に対しまして-8.74%。黒字の場合はマイナス表記となります。
金額で4億9,054万円の黒字です。

2つ目は連結実質赤字比率です。

一般会計と特別会計、企業会計を合せた赤字額の比率ですが、早期健全化基準値19.64%に対し-13.11%。これも黒字の場合にはマイナス表記となります。

金額で7億8,049万円の黒字です。

3つ目は実質公債費比率です。

これは自治体収入のうち借金返済に充てる割合を示したのですが、早期健全化基準値25%に対し20年度は17.2%です。
この数値が18%を超えますと、地方債の発行をするのに国の許可が必要となり、財政健全化計画の策定が義務付けされます。
25%を超えますと単独事業にかかる地方債が制限されることになり、北海道夕張市、赤平市などのように財政再建団体になります。

市川三郷町は、合併直後の平成18年度に18.3%と、18%を超えました。その結果、財政健全化計画を策定し、地方債の繰り上げ償還を平成19年度から25年度までの7年間で23億8,000万円を繰上げ償還する計画をたてました。

年度別では

平成19年度4億50万円、20年度4億2,851万円、
21年度3億6,409万円、22年度3億371万円、
23年度2億5,418万円、24年度2億9,490万円、
25年度3億3,580万円、
合計で23億8,000万円です。

その結果、年度別の実質公債費比率では、平成18年度は先ほどご報告しました18.3%でしたが、平成19年度は17.6%、20年度は17.2%、21年度は15.5%と大きく下げることができました。22年度は14.4%、23年度には14%を推計しております。

4つ目は将来負担比率です。

これは、自治体が将来的に負担する可能性のある借金の総額が、自治体本体の1年間の収入と比べどれくらい多いかを示すもので、早期健全化基準値350%に対し157.2%と早期健全化基準値を下回っております。

次に、平成22年度の一般会計当初予算ですが、78億8,200万円、対前年度、当初予算比で-7億1,200万円、率で8.29%の減額です。

この主な要因は、継続事業の町営住宅富士見団地建設事業の第3期分9億5,370万円が平成21年度で完成終了したこと。

また職員数の減による人件費4,500万円の減額、介護保険特別会計等への繰出金4,900万円の減額などです。

町営富士見団地の完成についてご報告を申し上げます。

第1期工事1号棟32戸が平成18年3月完成。第2期2号棟38戸は平成20年11月完成。第3期は、3号棟が19戸、4号棟が27戸で本年3月15日に完成しました。合計で116戸です。

総事業費は団地建設、道路改良、公園整備、公民館のほか駐車場整備等で21億6,000万円です。

このうちの40%は、国からのまちづくり交付金です。

平成22年度予算の特徴としては、

「中学3年生までの医療費窓口無料化の継続」、これは入院・通院も全てです。

「子育て祝い金」や「幼稚園就園奨励費補助金」などの子育て支援対策の充実、児童手当に代わる事業として「子ども手当支給事業」、総額で2億5,800万円ですが、町負担は、3,000万円です。

この事業は、中学生以下の子ども一人当たり月額13,000円を助成するというものです。

支払いは6月、10月、12月の年3回、支払日はいずれも15日を予定しております。

それから「肺炎球菌ワクチン接種への助成金」です。

これは議会での一般質問にお応えするかたちで、肺炎球菌ワクチン接種への助成を決めました。肺炎球菌は肺炎の原因となる細菌のことですが、インフルエンザ感染後は細菌感染を起こしやすくなるとのことです。

ワクチン接種の対象は、65歳以上と60歳～64歳までで心臓など機能障害がある身体障害者手帳1級所持者です。予防接種は7,000～8,000円の費用ですが、このうち町で3,000円を助成させていただきます。

また生活保護受給者につきましては全額公費で負担します。肺炎球菌ワクチンは1回接種しますと5年以上免疫のできることから、65歳以上のご高齢者には進んで接種を受けていただきたいと思っております。

県内27市町村のうちでこの助成をしているのは、市川三郷町と甲府市だけです。

さらに「ヒブワクチン接種への助成」です。

ヒブは、乳幼児の細菌性髄膜炎を起こさせる細菌のことで、ヒブによる髄膜炎は特に0歳～1歳に多いこと。またその患者の

約1/4に発達の遅れや、聴覚障害などの後遺症を残すとされております。

ワクチン接種は年齢によって、1回～4回必要とされていて、費用は1回あたり、7,000円～8,000円ですが、1回あたり3,000円を助成しております。

この助成は、県内27市町村のうち市川三郷町のみです。

それから「住宅用太陽光発電システム機器設置費用に対する補助」ですが、

1kW3万円、4kWまでで最大12万円を補助いたします。

続いて学校関係です。

「大塚小学校のトイレ棟の耐震化と洋式化」、「三珠中学校グラウンド整備」、
・スプリンクラーの設置」、「上野小学校のグラウンド整備とスプリンクラーの
設置」、六郷中学校・市川南中学校は全教室に、また三珠中学校は特別教室のみ
ですが「空調の整備」をいたします。

すでに中学校では市川中学校と三珠中学校は大規模改修をした折にエアコン設置
をしておりますから、残る六郷中学校と市川南中学校を、この8月20日まで
(夏休み中)に整備します。

それから上野小学校、市川小学校、市川南小学校、六郷小学校、市川南中学校、
六郷中学校の6校の「トイレの洋式化」、また「上野町民プールの周辺改修」等も
含め、学校・教育関連で、総額2億6,000万円を予算化しております。

六郷地区についてですが、「六郷中学校特別教室棟の建替え」を検討しております。
予算は1億5,000万円ほどですが、当初国の助成を6,000万円見込んでいま
したが、結果的には、高校無償化予算の影響からか、25%、1,400万まで減っ
てきましたので、予算を確保するのに時間がかかっておりますが、いずれにしても、
六郷中学の特別教室棟は建替えをする計画でおります。

さらに「町道宮原一本松線の新設改良事業」ですが、用地取得そのほかで、第2期分
として8,400万円を計上しております。

それから「黒沢バイパス」ですが、すでに3カ所から着工しており、完成は平成26
年度の予定です。現在、西八代縦貫道促進期成同盟会の会長をさせていただいており
ますので、その後には新割石トンネルから新宇野尾トンネルまでの新設道路の要望
を、県には申し上げております。

続いて「中部横断自動車道」の関係です。

増穂インターから六郷インターまでの9.3km。これは有料道路区間ですが、中日
本高速道路株式会社が受け持っており、平成28年度、ですから平成29年3月まで
の完成予定です。また六郷インターから富沢インターまでの28kmは、新直轄方式
で国土交通省が担当します。平成29年度、ですから平成30年3月までに完成する
予定となっております。

もう一つ重要なことをご報告申し上げます、
地方債残高、市川三郷町の借金残高です。

一般会計につきましてはよく公表されますが、特別会計を含めた借金残高を申し上げますと、平成19年度末264億円でしたが、平成22年度末で254億円となり、10億円減となります。

町民一人当たりでは、平成19年度末が146万円、平成22年度末が140万円。10億減らして一人当たり6万円減ったこととなります。人口規模類似自治体と比較しますと、概ね100億円くらい市川三郷町は借金が多いと認識しています。

最後になりますが、私は「行政は日常にあり」を信念としております。

「厳しい財政、限られた財源を活かし、いかに住民のみなさまの満足度を高める行政サービスを行えるか」を念頭に努力してまいり所存です。そして、申し上げましたように財政の健全化に向け、「入るを量りて出づるを制す」をしっかり守りながら、さらなる財政健全化を進めてまいります。そして教育と福祉を政策の軸として進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りたいと思います。

以上で終わらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。